

2025年度 事業報告書

第10期

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

I. 法人の概要

1. 設立年月日

2017年3月15日

2. 定款に定める目的

本財団法人は、建築、土木、開発、エネルギー、環境、防災等に関する学術研究を助成し、もってわが国の学術研究の発展に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 建築、土木、開発、エネルギー、環境、防災等に関する学術研究に対する助成
- (2) 建築、土木、開発、エネルギー、環境、防災等に関する仕事又は学術研究に将来従事しようとする学生に対する奨学金の給付
- (3) 建築、土木、開発、エネルギー、環境、防災等に関する学術研究を行う研究者の招聘、派遣に対する援助
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 主たる事務所の状況

主たる事務所：東京都新宿区西新宿一丁目25番1号 新宿センタービル

5. 役員等に関する事項 ※ 2026年3月31日現在

役職	氏名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
理事長	田中 茂義	非常勤	大成建設株式会社 会長
理事	磯部 雅彦	非常勤	高知工科大学 名誉教授・東京大学 名誉教授
理事	大倉 喜彦	非常勤	中央建物株式会社 会長
理事	加藤 信介	非常勤	東京大学 特命教授・名誉教授
理事	深尾 精一	非常勤	首都大学東京（現 東京都立大学） 名誉教授
理事	藤野 陽三	非常勤	城西大学 学長
理事	松村 秀一	非常勤	神戸芸術工科大学 学長
理事	宮川 豊章	非常勤	京都大学 名誉教授
理事	和田 章	非常勤	東京工業大学（現 東京科学大学） 名誉教授
理事	篠崎 洋三	非常勤	大成建設株式会社 設計本部 副本部長
監事	佐野 裕	非常勤	佐野公認会計士事務所

役職	氏名	常勤・ 非常勤の別	担当職務・現職
評議員	射場本 忠彦	非常勤	東京電機大学 学長
評議員	入倉 孝次郎	非常勤	愛知工業大学 客員教授
評議員	清野 純史	非常勤	京都大学名誉教授
評議員	座小田 豊	非常勤	東北大学 名誉教授
評議員	須川 成利	非常勤	東北大学 教授
評議員	瀧口 克己	非常勤	東京工業大学（現 東京科学大学） 名誉教授
評議員	濱田 政則	非常勤	アジア防災センター センター長
評議員	古谷 誠章	非常勤	早稲田大学 教授
評議員	森地 茂	非常勤	政策研究大学院大学 名誉教授
評議員	吉野 博	非常勤	東北大学 名誉教授
評議員	吉本 一穂	非常勤	早稲田大学 名誉教授

役職	氏名	常勤・ 非常勤の別	担当職務・現職
選考委員長	高田 毅士	非常勤	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 室長
選考委員	小澤 一雅	非常勤	政策研究大学院大学 教授
選考委員	尾本 彰	非常勤	元東京工業大学 特任教授
選考委員	川瀬 貴晴	非常勤	千葉大学 名誉教授
選考委員	木下 庸子	非常勤	工学院大学 名誉教授、株式会社設計組織ADH 代表
選考委員	久野 覚	非常勤	名古屋大学 名誉教授
選考委員	小峯 秀雄	非常勤	早稲田大学 教授
選考委員	下村 匠	非常勤	長岡技術科学大学 教授
選考委員	中島 伸	非常勤	東京都市大学 准教授
選考委員	野口 貴文	非常勤	東京大学 教授
選考委員	花里 利一	非常勤	東京大学 教授
選考委員	原田 和典	非常勤	神奈川大学 客員教授
選考委員	古橋 剛	非常勤	日本大学 講師（元教授）
選考委員	堀 宗朗	非常勤	国立研究開発法人 海洋研究開発機構 部門長
選考委員	水谷 法美	非常勤	名古屋大学 副総長

## II.事業の状況

### 1. 事業の実施状況

#### 1-1-1. 2025年度助成金の支給状況

2024年度助成対象研究のうち、2025年度も引き続き研究の継続を希望する8件について継続を決定し、助成金を支給した。

また、2025年度の助成対象研究として、81件の応募の中から13件を選定し、助成金の支給を2025年度に実施した。

2024年度（継続）支給額 14,956千円

2025年度（新規）支給額 25,458千円 支給総額 40,413千円

#### ・2024年度助成対象研究（継続）

番号	分野	整理番号	研究代表者 (申請者)	年齢 2024年 12月末	所属機関 ・職名	研究課題名
1	計画	24013	小松 尚	58	名古屋大学 ・教授	中国の農村から都市部への集団転居による住環境の変化とその影響に関する研究
2	構造	24005	木村 祥裕	56	東北大学 ・教授	大地震時の非構造部材の応力伝達機構解明と損傷可視化に基づく地震後継続システムの開発
3	外乱	24047	五十嵐 晃	60	京都大学 ・教授	3次元入力地震動の位相極性に着目した構造物の耐震性能評価法の開発
4	設備・ 環境・ エネルギー	24011	伊藤 禎彦	63	京都大学 ・教授	地域社会における持続可能な水供給計画の立案
5		24004	川村 洋平	51	北海道大学 ・教授	ドローンの姿勢制御パラメータを活用した三次元風向風速計測装置の開発
6	地盤・ 岩盤	24049	松田 達也	39	豊橋技術 科学大学 ・准教授	マルチスケール浸透破壊現象の解明に基づく鋼矢板を用いた対策効果の評価
7	防災・ 減災・ 復興	24021	山城 賢	53	九州大学 ・教授	有明海における漂流物追跡調査と高精度漂流予測シミュレーションモデルの開発
8		24027	伯耆原 智世	34	早稲田大学 ・専任講師	タブレット型端末を用いた就寝施設における災害時の避難計画手法の開発

#### ・2025年度助成対象研究

番号	分野	整理番号	研究代表者 (申請者)	年齢 2024年 12月末時点	所属機関 ・職名	研究課題名
1	計画	25065	堀 裕典	45	岡山大学 ・准教授	地方都市におけるコンパクトシティを前提とした都市マネジメントに関する研究－英国・米国・オーストラリア・スウェーデンにおける受益算定の考え方－
2	構造	25013	山下 哲郎	59	工学院大学 ・教授	デジタル技術を活用したステンレス製ラテスシェル構造の弾塑性座屈実験
3		25024	山田 諒	27	京都大学 ・助教	詳細計測を用いた鋼繊維補強コンクリート耐震壁部材の損傷制御設計手法の提案
4		25031	楊 沐野 (ヤン モリ)	35	九州大学 ・准教授	腐食鋼部材と炭素繊維シートとの接着界面における剝離抑制による高耐久性設計
5	設備・ 環境・ エネルギー	25017	渡辺 一哉	62	東京薬科大学 ・教授	塩素化エチレン汚染地下水浄化のための微生物電気化学技術の開発
6		25066	金 政秀	52	武蔵野大学 ・教授	機械学習によるカメラ画像を用いた着衣量・代謝量推定モデルの開発
7		25002	中嶋 隆	62	京都大学 ・准教授	人体および環境への負荷を大幅に低減する粉塵計測支援パルスレーザー除染法の開発
8	施工	25081	藤澤 隆介	44	北九州市立大学 ・准教授	建設現場で多数の重機を連携させるための群ロボットによる自律分散制御の実現
9	材料	25008	呉 多英 (オグモ)	38	北海道大学 ・助教	乾湿繰り返し手法を用いたセメント硬化体の炭酸化及び混和材への適用に関する研究
10	地盤・ 岩盤	25038	澤田 茉伊	41	東京科学大学 ・准教授	超吸水性樹脂を用いた乾湿環境に強い土の開発と土の再資源化法の提案
11	防災・ 減災・ 復興	25063	松本 直之	38	東北大学 ・助教	木造住宅の外観被害調査精度向上に向けた建築構法・建設年代の図解判定指標の構築
12		25049	荒木 裕行	39	香川大学 ・准教授	土圧軽減効果に着目した城郭石垣のジオグリッドによる耐震補強効果の評価
13	リニュー- アル ・長寿命	25059	大和 征良	49	小山工業高専 ・准教授	部材接合における鉄筋節形状とコンクリート強度の違いが接着系と施工アンカーの高温時付着強度及び付着破壊性状に与える影響

1-1-2. 2026年度助成対象研究の選定状況

2025年度助成対象研究のうち、2026年度も引き続き研究の継続を希望する10件について継続を決定し、助成金を支給する。

また、2026年度の助成対象研究として、99件の応募の中から13件を選定した。  
なお、助成金の支給は2026年度に実施する。

2025年度（継続）支給額 19,100千円

2026年度（新規）支給額 24,285千円 支給総額 43,385千円

・2025年度助成対象研究（継続）

番号	分野	整理番号	研究代表者 (申請者)	年齢 2025年 12月末	所属機関 ・職名	研究課題名
1	計画	25065	堀 裕典	46	岡山大学 ・准教授	地方都市におけるコンパクトシティを前提とした都市マネジメントに関する研究 -英国・米国・オーストラリア・スウェーデンにおける受益算定の考え方-
2	構造	25013	山下 哲郎	60	工学院大学 ・教授	デジタル技術を活用したステンレス製ラチスシェル構造の弾塑性座屈実験
3		25024	山田 諒	28	京都大学 ・助教	詳細計測を用いた鋼繊維補強コンクリート耐震壁部材の損傷制御設計手法の提案
4		25031	楊 沐野 (ヤン モクノ)	36	九州大学 ・准教授	腐食鋼部材と炭素繊維シートの接着界面における剥離抑制による高耐久性設計
5	設備・ 環境・ エネルギー	25017	渡辺 一哉	63	東京薬科 大学・教授	塩素化エチレン汚染地下水浄化のための微生物電気化学技術の開発
6		25002	中嶋 隆	63	京都大学 ・准教授	人体および環境への負荷を大幅に低減する粉塵計測支援バルスレーザ除染法の開発
7	施工	25081	藤澤 隆介	45	北九州 市立大学 ・准教授	建設現場で多数の重機を連携させるための群ロボットによる自律分散制御の実現
8	材料	25008	呉 多英 (オダモリ)	39	北海道大学 ・助教	乾湿繰り返し手法を用いたセメント硬化体の炭酸化及び混和材への適用に関する研究
9	地盤・ 岩盤	25038	澤田 茉伊	42	東京科学 大学 ・准教授	超吸水性樹脂を用いた乾湿環境に強い土の開発と土の再資源化法の提案
10	リニュー- アル ・長寿命	25059	大和 征良	50	小山工業 高専 ・准教授	部材接合における鉄筋節形状とコンクリート強度の違いが接着系あと施工アンカーの高温時付着強度及び付着破壊性状に与える影響

・2026年度助成対象研究

番号	分野	整理番号	研究代表者 (申請者)	年齢 2025年 12月末	所属機関 ・職名	研究課題名
1	計画	26080	菊池 浩紀	35	日本大学 ・助教	生活圏縮退に対応する「日本型X分都市」モデルの構築と政策シナリオ評価
2		26024	本田 恭子	44	岡山大学 ・准教授	日本と台湾における水上太陽光の導入実態と地域的受容
3	構造	26069	菊地 由佳	38	東京大学 ・講師	ライダー支援フィードフォワード制御を用いた浮体式洋上風力発電システムの動揺と荷重低減
4	設備 環境 エネルギー	26015	菊本 英紀	40	東京大学 ・准教授	物理情報付き機械学習を用いた音響トモグラフィによる空気流動計測システムの開発
5		26013	石田 泰之	39	東北大学 ・准教授	気候変動の緩和・適用に資する都市開発に利用可能な街路樹の蒸散量・炭素固定量の予測モデル開発
6	材料	26088	福山 智子	43	立命館大学 ・教授	3Dプリント積層体の破壊プロセス解明：X線CTとDICの相関による破壊の起点と進展経路の追跡
7		26041	鈴木 陽也	25	早稲田大学 ・院生	副産物循環型カーボンネガティブ材料の開発：焼却飛灰・土質系材料・灰洗浄水によるCO <sub>2</sub> 固定・重金属不溶化プロセスの構築
8		26020	磯部 和真	33	岡山大学 ・助教	サーモクロミック材料を用いた太陽光に対する再帰反射性の受動的制御
9	地盤 岩盤	26050	京川 裕之	42	名古屋工業 大学・准教授	表面反応起点で進行する黄鉄鉱地盤の風化プロセスの解明
10	防災 減災 復興	26033	多田 豊	44	愛媛大学 ・准教授	「説明の仕方」で避難行動は変わるのか？ AIが説明するウェブハザードマップとVR避難体験ゲームを用いた検証研究
11		26034	後藤 裕瑛	30	東京大学 ・院生	東日本大震災以降の長期復興計画のモニタリング及び更新経緯の分析 -復興計画策定自治体を対象としたアンケート・インタビューを通じて-
12	リニュー- アル ・長寿命	26003	篠原 崇之	36	産業技術総合 研究所 ・主任研究員	大規模言語モデル(LLM)と3Dモデリングによる橋梁の劣化予測・意思決定支援
13	建築の保 存・修復	26026	山名 善之	59	東京理科大学 ・教授	ノートルダム大聖堂修復の記録保存制度と技術の展開

### 1-1-3. 第7回研究成果発表会の開催状況

2025年10月17日に新宿センタービル52階大ホールで第7回研究成果発表会を開催した。今回も昨年度に引き続き、財団理事、評議員、監事、選考委員および発表者の他、一般の参加者にもご来場いただくと同時に、オンラインにより発表会の模様を配信した。

また、財団評議員である東北大学 名誉教授の座小田豊様より「アイデアの「臨界」に向かって—「哲学すること」について」という題目でご講演をいただいた。

発表終了後には、研究期間終了後に提出される完了報告書と当日の発表内容の両方を評価して「大成学術財団選奨」金賞、銀賞、銅賞を選出し、金賞に茨城大学の伊藤大知講師、銀賞に東京都市大学の小野村史穂准教授、銅賞に東京科学大学の吉敷祥一教授が選ばれた。表彰式では大成建設株式会社社長の田中茂義理事長より受賞者に表彰状、表彰メダル、副賞が授与された。

#### ・研究発表課題（2022・23年度助成対象研究）

番号	分野	整理番号	研究代表者 (申請者)	年齢 2022年 12月末	所属機関 ・職名	研究課題名	
1	防災・ 減災・ 復興	22014	小野村 史穂	37	東京理科大学 ・助教	降水粒子自動判別小型IoTデバイスの開発	2022年度
2	計画	23041	吉田 雪乃	26	東京電機大学 ・助教	広域的視点からみた持続可能なコンパクトシティ計画に関する研究	
3	構造	23036	八百山 太郎	28	東京大学 ・特任助教	マルチタスク学習に基づく都市基盤施設の知識共有型群監視技術の構築	
4		23026	吉敷 祥一	44	東京工業大学 ・教授	実大免震試験施設を活用した免震部材におけるスケール効果の解明	
5		23018	伊藤 拓海	46	東京理科大学 ・教授	意匠性・生産性・耐震性に優れた木材と鉄骨の合成接合工法の開発と実用化研究	
6	設備・ 環境・ エネルギー	23028	竹林 英樹	49	神戸大学 ・准教授	街区レベルでの効果的な温熱環境情報提供システムの開発	
7		23024	吉田 友紀子	46	茨城大学 ・助教	バイオフィリックデザイン空間における自然通風利用促進のための「積極的快適域」の確立と省エネルギー技術の連動に関する研究	
8	材料	23003	磯部 和真	30	岡山大学 ・助教	二酸化バナジウム含有マイクロカプセルによる放射冷却の機能的制御	
9		23040	友寄 篤	42	東京大学 ・助教	地域性を有する産業副産物及び無機粉体を用いた高機能塗料の開発	
10	地盤・ 岩盤	23007	伊藤 大知	28	早稲田大学 ・助教	各種ベントナイト系材料の透水特性データベース構築および理論的評価方法の高度化	
11	防災・ 減災・ 復興	23020	池上 重康	56	北海道大学 ・助教	多様な災害に対応する被災歴史的建造物調査システムの再構築ならびに文化財防災への活用に関する研究	
12		23037	北原 優	29	東京大学 ・助教	階層ベイズ更新による既存橋梁の耐震性能評価モデルの構築	
13		23005	近広 雄希	35	信州大学 ・助教	シザーズ機構を用いた災害用折畳みパネル橋の最適パネル形態に関する研究	

### 1-2-1. 2025年度奨学金の支給状況

2025年度は、奨学金給付事業開始2年目を迎え、2024年度からの奨学金給付対象者15名全員を継続採択、2025年度新規給付対象者14名を採択し、計29名に対し給付を行った。

2024年度給付対象者（継続）

対象者	人数	給付金額
高専4年生	6名	2,160,000
大学3年生	9名	6,480,000
計	15名	8,640,000

2025年度給付対象者 計

対象者	人数	給付金額
高専生	11名	3,960,000
大学生	18名	12,960,000
計	29名	16,920,000

2025年度給付対象者（新規）

対象者	人数	給付金額
高専3年生	5名	1,800,000
大学2年生	9名	6,480,000
計	14名	8,280,000

### 1-2-2. 2026年度奨学金給付事業の選定状況

2026年度は、継続最終年度を含む3学年がすべて揃う初めての年度となる。

2026年度は、高専生15名、大学生10名の25名を新規募集とし、継続希望者は全員と想定しており、総勢54名に対して約30百万円の奨学金を給付する予定である。

2024年度給付対象者（継続最終年度）

対象者	人数	給付金額
高専5年生	6名	2,160,000
大学4年生	9名	6,480,000
計	15名	8,640,000

2026年度給付対象者 計【予定】

対象者	人数	給付金額
高専生	26名	9,360,000
大学生	28名	20,160,000
計	54名	29,520,000

2025年度給付対象者（継続）

対象者	人数	給付金額
高専4年生	5名	1,800,000
大学3年生	9名	6,480,000
計	14名	8,280,000

2026年度給付対象者（新規）【予定】

対象者	人数	給付金額
高専3年生	15名	5,400,000
大学2年生	10名	7,200,000
計	25名	12,600,000

## 2. 重要な契約に関する事項

当期に締結した、高額な資産の売買契約等の重要な契約はありません。

### 3. 役員会等に関する事項（理事会、評議員会等）

当期に開催した理事会等の開催年月日、議事事項等は以下のとおりである。

会議名称	回数	開催年月日	議事事項等
理事会	第1回	2025年6月10日	<p>(決議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2024年度事業報告および決算               <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. 事業報告</li> <li>1-2. 貸借対照表</li> <li>1-3. 正味財産増減計算書</li> <li>1-4. 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書</li> <li>1-5. 財産目録</li> </ol> </li> <li>2. 奨学金給付事業について               <ol style="list-style-type: none"> <li>2-1. 奨学金給付対象者の決定</li> <li>2-2. 募集期間の延長について</li> </ol> </li> <li>3. 定時評議員会招集</li> <li>4. 2026年度研究助成募集要項</li> </ol> <p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2025年度助成事業スケジュール</li> </ol>
理事会	臨時 (書面)	2025年8月20日	<p>(決議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 奨学金給付対象者（追加）の決定</li> </ol>
理事会	第2回	2026年3月25日	<p>(決議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2026年度事業計画等               <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. 2026年度事業計画</li> <li>1-2. 2026年度収支予算書</li> <li>1-3. 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類</li> </ol> </li> <li>2. 2025年度継続助成対象研究の決定及び2026年度助成対象研究の決定</li> <li>3. 2026年度奨学金募集要項</li> </ol> <p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第7回研究成果発表会実施報告</li> </ol>

会議名称	回数	開催年月日	議事事項等
評議員会	第1回	2025年6月25日	(決議事項) 1. 2024年度決算 1-1. 貸借対照表 1-2. 正味財産増減計算書 1-3. 財産目録  (報告事項) 1. 2024年度事業報告 2. 助成対象研究選考に関する報告 3. 奨学金給付対象者に関する報告 4. 第6回研究成果発表会実施報告
選考委員会	第1回	2026年3月3日	(審議事項) 1. 2026年度新規課題の選考 2. 2025年度継続課題の審査  (報告事項) 1. 第7回研究成果発表会の報告 2. 2026年度の応募状況について 3. 2026年度の新規課題の採択数について

#### 4. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移

単位：千円

	2022年 3月期 (第6期)	2023年 3月期 (第7期)	2024年 3月期 (第8期)	2025年 3月期 (第9期)	2026年 3月期 (第10期)
前期繰越収支差額	29,314	33,394	35,020	39,126	28,896
当期寄付金収入合計	50,000	50,000	50,000	50,000	60,000
当期経常費用合計	45,920	49,002	48,958	59,549	68,548
経常外収益・費用	0	628	3,064	▲ 680	611
当期正味財産増加額	4,080	1,625	4,105	▲ 10,229	▲ 7,937
次期繰越収支差額	33,394	35,020	39,126	28,896	20,959
資産合計	33,464	35,020	39,126	28,896	20,959
負債合計	70	0	0	0	0
正味財産	33,394	35,020	39,126	28,896	20,959